

広報



ふ・れ・あ・い



編集・発行

印西市社会福祉協議会小林支部

TEL 42-0294

◆◆◆さくら会食会再開◆◆◆

2020年3月からコロナ感染症拡大や小林コミプラ改修工事で、3年半の間、さくら会食会を催すことができませんでした。

それに代わり、9月までは月に一度、会員宅にお弁当・軽食をお届けしていました。

10月1日、小林コミプラ再開で18日(水)食事を開催しました。食事前の催しでは小林を拠点に活動されている「さくらコーラス」、「小林シニア男声合唱団」の美しく迫力ある歌声に、高齢者の皆さん感動の拍手喝采でした。

正午からは和室にて食事会です。久しぶりに顔を合わせた会員の皆さん、話に花が咲きいつもの食事会より長座となりました。やはり、人とのふれあいに優るものはありませんね。



・次は、こんにやくパークで食事、そしてパン菓子工場の見学でした。お土産を買って帰りのバスへ。交通事故渋滞にありました。事務局の皆さんの気配りで楽しい時間になりました。・そうそう、参加者紹介では、高齢の方への昼食づくりの会、健康体操の会や松寿会など、町内での交流についてうれしい話を聞くことができました。

・世界遺産「富岡製糸工場」
行って観て、わかることがあります。
明治三年、殖産興業を進めた明治政府は、フランスから、絹糸づくりの手ほどきをする工女と技士を招きました。士族や豊かな家の女子が募られ、習得した技術を各地に広めようとした。ここには寄宿舎や診療所があり、勤務時間はしっかり定められ、休日もあったそうです。
それから四十年ほど後、「女工哀史」に描かれた悲しい話は、同じ日本でのことだったのか、と考えさせられました。
蚕は、吐き出す糸で繭を作り中にこもりまします。
成虫になるとそれを破って出てくるので糸が切られます、そこで切られる前に手を加えて紡ぐのです。繭ひとつで千五百メートルの長さにも。「おかいこさま」と呼んで感謝したことがわかります。



四年振りのボランティア交流会が開催されました

黒田次郎

赤い羽根共同募金

10月2日(月)朝、小林駅にて募金活動を行いました。

朝の忙しい時間帯にもかかわらず足を止め、23,824 円の募金にご協力頂きました。皆さまの篤志に感謝申し上げます。



地区担当理事 (お問合せ先)

(太字…民生・児童委員)

- ・砂田, 新田…、小川 (97-0212)、鈴木 (97-0221)
- ・台方…浅野 (97-3135)、小関 (97-2210)、松藤 (97-2272)
- ・馬場, 牧場…山口 (42-3892)
- ・小林北 1, 2…阿部 (97-3186)
- ・小林北 3, 4, 5, 6…清倉 (97-0826)、風岡 (97-1562)
- ・小林浅間…佐藤 (97-5784)、吉田 (97-4687)
- ・小林大門下…橋本 (97-1060)、石橋 (97-1806)



◆◆◆令和5年度行事予定◆◆◆

行事名	予定日	対象者
* さくら会食会 (年10回)	12/20、1/17、2/21、3/13	65歳以上の独居の方
* すずかけの茶話会 (年2回)	12/5、2/6	65歳以上の方
* 支部研修交流会 (年1回)	1/17	評議員と理事
* 地域見守り活動	通年	小中学生登下校時
* 広報誌『ふれあい』発行 (年3回)	3月予定	小林全戸配布